

## 教育、民生常任委員会記録

招集年月日	平成27年4月9日(木)
招集の場所	議員控室
開会	午後1時32分
出席者	委員長 福田 淑子 副委員長 山岸 三男 委員 千葉 一男 委員 藤田 洋一 委員 柳田 政喜 委員 大橋 昭太郎 委員 吉田 二郎 委員 平吹 俊雄  議長 吉田 眞悦
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏名	主幹兼係長 相澤 正典
協議事項	・研究テーマの今後の取り組みについて
その他	
閉会	午後3時08分

2号様式 協議の経過

<p>福田委員長</p>	<p>皆さん、こんにちは。議会が終わって、しばらくお休みをした方もいれば、議会だより編集委員会で大変な方もいらっしゃると思いますけども、これから教育、民生常任委員会を開きたいと思います。全員、出席ですので、委員会は成立いたしております。議長につきましては、今、東北電力の会社の方がみえてますので、終わりしたい参加することになりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、会議を開きます。きょうの日程は、今後の進め方ということで、皆さん、いろいろどのように進めたらいいのか考えてきたと思います。それで、必要な資料については、大橋委員からはいただきました。私は、教育委員会に対して、いろいろ調べて欲しいということでその資料を皆さんにお渡ししております。</p> <p>それから、新聞記事についてもお渡ししております。皆さんから、この資料をぜひ、皆さんに知らせたいという資料があれば、まず、先にいただきたいなと思いますけども、ありませんね。</p> <p>今後の進め方なんですが、12月議会に提案するというので、月1回を行い、これについては皆さんに言って前回、確認をしておりました。それで、きょうは、具体的にそれを提案、12月の議会の提案するために、研究したいということで進め方、具体的な進め方を皆さんで協議したいと思います。皆さんから、ご意見ありませんか。はい。大橋委員。</p>
<p>大橋委員</p>	<p>直接、無償化であったり、軽減制度であったりという部分に入っていくんだろうと思うんですが、その前に原稿の中に就学援助があると思うんです。就学援助の部分というこの制度と、それから、子ども子育て支援だったけっか、やってんのあった。</p> <p>その制度を、例えば、その子ども子育て支援の中では、給食費の未納部分を、それから充当することができるみたいな制度変更が起きたようなんですね。その直接的に給食費の就学援助だったり、子ども子育て支援というものが、在り方を、基本的なところで、勉強していかなきゃならないんじゃないかと思うんですね、と考えてきました。</p>
<p>福田委員長</p>	<p>子ども手当から引くということが、どうなのかということですか。</p>
<p>大橋委員</p>	<p>子ども手当から、その充当する部分、できる制度にその辺、かわってきた。</p>
<p>福田委員長</p>	<p>美里はしてないの。</p>

大橋委員	<p>してないけども、そういった部分も視野に入れておかないとダメなんじゃないかなって言う……。そうでも、ベースだとしてね。一つひとつを皆で共通認識として、もっていったほうがいいんじゃないかっていうふうに感じたきたもんですから。</p> <p>就学援助についても、毎回、予算決算で出てくるけども、具体的に、だいたい前にその委員会でないほうの委員会にきてもらった時に、多少ほんのかける程度の、審査した結果があるのだけども、それも大事な部分だと思うですね。</p>
福田委員長	他にありませんか。副委員長、ないですか。
山岸副委員長	はい。今、大橋委員の言われたとおり、それは必要なことだと思うんです。ただ、今、大橋委員の意見聞いていた時に、就学…、最初に言った、まだ、美里町で取り入れてない支援資金から、給食費も差し引いて支給っていう方法……。そうでないの。
大橋委員	就学支援、子ども手当の部分から、給食費の未納部分に充当することができる。言ってみれば、天引きみたいにすることができる。
山岸副委員長	だろうと思うんだけども…。
大橋委員	深くわかんない。
山岸副委員長	それも、もう少しというか、単なる美里町はまだ導入してないということなんだよね。
福田委員長	してないの。
山岸副委員長	してないの。
福田委員長	しないというか、そういう方針なのね。
千葉委員	公会計ならないとね。できないの。(複数の声)
山岸副委員長	<p>私が言うのは、その辺も、きちんとわれわれに共通認識もないのにやらないかということですよ。それをもう少し確認した上で、前に進むべきであってね。同時に原則としてね。共通認識薄いと、美里町、まだそれができなくなってんだけども、やるようにしてんのかどうかということとか。</p> <p>そういうことも、理解してみて、進めていかなくてないということと、あともう一つ感じたのは、要するに未納者が、全員が全員でなくて、未納者というのは、おそらく美里町の小・中学校の全体で言えば、何パーセントなのか、それもちょっと確認しなくちゃならないと思ったんです。共通的には同じ考え方なんだと思うんだけどね。</p>
大橋委員	ちょっと、違う気がするけど。
福田委員長	きょうは、進め方をどのようにもっていかうかということで、皆さん、長い休みだったので充分考えてきたと思うのね。その、進め方をどうしていきましようかという提案なので、今、大橋委員からは、子ども手当からの給食費の天引きについては、どのように共通認識としていかないんでないのかっていうことを、ぜひ、研究したいということもあったんですけど。

	<p>今、副委員長からもね。同じ意見出たんですけど。これだけしたって、私たちの研究テーマに結びつかない。他にありませんか。にわか、考えでなくて、考えてくれば良かった。誰かが、口火をきったから、それに対して言うんじゃないくて。私たちが、研究テーマとして選んだから、それを12月の提案に向けて、こういう順序で研究していきましょっていう提案型をしてほしいのね。</p> <p>ぜひ、皆さん、ありませんか。私の考えでいいかな。記録しないといけないから。名前を言ってから進行します。はい。大橋委員。</p>
大橋委員	<p>そういったのがベースにあって、今、給食費の無料化っていうのが言われている部分においては、例えば、大きな理由としては未納対策。未納のために、ひとつの方向性としてね、例えば、無償化すれば未納という考え方がなくなるだろうというようなこと。</p> <p>それから、もうひとつは、定住化っていうのかな。若い世帯を呼び込むために、実際に無償化したことによって、若い世帯が移ってきているという事例もあるようですけども、そういった部分で、その効果が出ている部分、行ったことによる効果の部分が、結局は、私たちの研究テーマに沿っていくんだろうと思います。</p>
吉田委員	<p>そのとおりですけども。私も、なぜ無償、今、各自治体が増えてきたって、いろいろなインターネットみたいのあったんですけども、なぜ、無料化だとか無償化にしなくちゃならないひとつのあれかなと思って、俺も喋ったんですけども、委員がそう思ったらうまくないかなと思ったから、あれだったんですけど。そのとおりだと思いますよね。</p>
福田委員長	<p>そのために、いろいろ研究しなくないと思うんですけど。今後の進め方、委員長として考えてきたので、それ示していいかしら。話が、ポンポン、そっちこっち飛ぶので、暫時休憩します。</p>
	<p>休憩 13:42 再開 13:55</p>
福田委員長	<p>再開いたします。取り組みとして、給食費の無償化について、まず、皆さんでどういうものを勉強したいと。そのためにも、近隣市町村の取り組み状況も知っておいた方がいいだろうということです。</p> <p>それから、給食費の確認なんですけれども、未納状況、そして、美里町の給食費は、どうなっているのかを確認したいと思います。</p> <p>それから、学校給食法についても、きちんと私達自身が学んで取り組んでいきたい。食材の搬入ルートについても、どういうルートで材料が届いているのかも知っておく必要があるだろうと思います。</p> <p>食材の地場産利用状況がどのようになっているのか、自校方式それからセンター方式と二つの方式をとっておりますので、その点の利用状況を皆さんで審議したいと思います。</p> <p>それから、各学校で残食が出ているところもあるんですけども、これに</p>

	<p>ついては、分科会で平吹委員が残食について聞いたところ、学校では統計をとっているという答えがありました。状況について伺いたい。</p> <p>それから、先進地としてどこをどういう目的をもって視察するのかを決めていきたい。この中で、これは必要ないというものありませんか。または、これを足して欲しいというのがあれば皆さんからご意見いただきたいと思います。</p>
福田委員長	はい。吉田委員。
吉田委員	言葉あれなんだけど、無償化っていうのと無料化っていう表現ってかさ、違いとかないのすか。それとも、取り決め、こういうのは、無料化と違って、無償と違って特定あんですかね。
福田委員長	教育の無償化、それと学校給食の無償化しといるのある、無償化っていうのもある。皆さん、これありますよね、これお渡ししてます。この一番上に。3行目に書いてます。
吉田委員	インターネットなんかで見ると、無料化と違って、あんまりにも単純的なあれな言葉がね。やくして。正式なのはどのようなのですかね。
山岸副委員長	公教育の無償化ということは、教育の中の給食も一緒。入るでしょ、教育の機関ということになんだから。無料化っていう表現はしないのさ。だから、無償化って。
大橋委員	給食費が無料ではないんだよね。給食費としてかかっているわけだよ。それを、形式的な形の中で、それを補填するから無償と、結局ということだと思っただ。
福田委員長	他にありませんか。これ足した方がいいっていうのがあれば。あと、これ要らないっていうのがあれば。はい。大橋委員。
大橋委員	食材の考え方なんですけども、例えば、給食の中に、製品化されたのをのっけてくるのもあるんだよね。既製品っていう考え方さ。その辺の利用状況、地場産の利用状況。そういったようなものの考え方って、どうなのかと、いつも思うわけさ。
福田委員長	全材料の。
山岸副委員長	材料でなくて、メニュー。
大橋委員	そういうのは、入らないのかどうか。
山岸副委員長	給食費の中に。
福田委員長	いただいた資料ね。分科会でいただいた資料の中には、イモ及びデンブンの中にジャガイモ、サツマイモ、里イモ。それから、大豆、インゲン、豆腐は加工品なるんですね。はい。山岸委員。
山岸副委員長	要するに、大橋委員が地場産品利用状況の中でのメニューの中に入っている、要するに、例えば、今日は、プリンが入りましたとか、既製品、それも、地場産品のひとつなのかということ。
大橋委員	統計の作り方、確かに、そうなんだけど。例えば、それを受けて残食とかがっていった時、残食の取り方の状況っての変わってくるんだらうな。例

	<p>えば、残食っていった時は、全ての給食の残食を、どういう統計の取り方をしているかわからないけども。どういうふうになっているのか。考え方が、いつも、そこでつまずくところなのね。俺はね。</p>
山岸副委員長	<p>料理した部分、ご飯だったり。味噌汁だったり、おかずが、子ども達が食べ残したものの、その量の測り方の、何キロだとかさ。</p>
福田委員長	<p>ほかにありませんか。</p>
大橋委員	<p>量で判断するしか・・・</p>
福田委員長	<p>だから、今、そこで判断するんじゃなくて、残食がどれくらいあるか聞かないとわからない。これは要らない、これは足した方がいいというのがあれば皆さんから出していただいて。中身については、これから、勉強していくので。はい。山岸委員。</p>
山岸副委員長	<p>委員長に、ちょっと確認しておきたいんですけども、ここに、あげたことは、全ていいと思うんです。ただ、この中で、給食費っていうお金の問題を、まずどうするかっていうところから入って、その中身を検討して、結果的に無償化できるか、できないかまでもっていくという進め方だろうと思うんだけど。同時にね。単価も、一人ひとり、単価も出ているんだけど。給食センターは没になりまして、今は自校方式でやってます。自校方式での単価及び町の負担ということで、そこまでには給食費に入っていないか。</p>
福田委員長	<p>入ってません。町の負担については、給食費には入ってない。何回も言うけど、食材費のみなんです。</p>
山岸副委員長	<p>食材費のみの考え方で検討していくんだね。</p>
福田委員長	<p>はい。大橋委員。</p>
大橋委員	<p>副委員長、言ってる部分によっては、食材費だけの比較だけではダメな部分もあると思うんですね。例えば、給食の値段、今、210円、1食250円だったか。</p>
福田委員長	<p>資料に出しました。</p>
大橋委員	<p>それで、実質的に、例えば、この給食の事業が、どれぐらいの経費がかかっているかというのは、把握しておかなければならないと思うのね。 それが、例えば、無償化していった時には、何億というくらい、この部分だけで何億なんですけど、集める分を無償化すると。実際は、幼稚園費だってなんだって9万いくらかかるのが、5,000円に近付いてないみたいなことあった。あれを拾えばわかる...</p>
福田委員長	<p>あくまでも、親が負担している給食費についてなので、それに伴う施設費が...どうすればいい。他にありませんか。これを加えたほうがいいというものあれば。研究していく項目なのね。これが、はっきりしないと、これから日程組んで進めるといのは、ちょっと厳しくなるので。はい。千葉委員。</p>
千葉委員	<p>今までの聞いたのは、要するに給食費の無償化っていうのはね、先に</p>

	<p>親の負担をゼロにしようというような方向で、多分、議論が進んだと私は思ってます。したがって、そういうこと、それ以上に引き出すと議論が収集できなくなる。それを実現するためにということで...</p> <p>もうひとつは、お金がかかりますんでね、タダにすると。なんぼ実際、現状の中でね、やったら、かかるかなということは調査するべきかな。それをするために、学校給食法を決めた国の法律上の制度ね、国の制度がありますよね。</p> <p>だから、それが実際に給食のところに、どういうふうに作用しているかということとかも同時にやっぱり調べる必要があると思う。それだけだね。あとのことについては、拡散させないようにしないと、なかなか、一年間で大変だなと思います。</p>
福田委員長	他にありませんか？はい。平吹委員。
平吹委員	自校方式とセンター方式あった場合に、比較というのはあるのかな。
福田委員長	そこまでは入っていくと、今、現在あるものを.....。
平吹委員	あくまでも、自校方式と。
福田委員長	いいえ。美里町の学校給食自校方式とセンター方式をとっているのをそれを基盤にしての話。だから自校方式にしる、だからセンター方式にしるという話では...
平吹委員	そういうんじゃなくて、自校方式するとかセンター方式じゃなくって、比較ね。センター方式の場合の食材の金額なり、自校方式。その場合は、対照比較なんてできないのかなって。
福田委員長	比較...出してあんの。小牛田地域は 264 円、小学校。中学校が 333 円。センターは、小学校 271 円、中学校は 307 円、幼稚園 235 円っていうふう
平吹委員	これは、あくまでも、給食、食材じゃなくって、給食費全体の中の金額で、食材に対しては。
福田委員長	これ食材。今、言ったの、食材に対して。
平吹委員	食材って、333 円っていうの食材、給食費、一食.....
福田委員長	一食あたりの。
平吹委員	俺、言いたいのは、単価じゃなくって、いわゆる給食センターにした場合の物の仕入れとかという、あるいは、自校方式した場合の物の仕入れというの違ってくるのかなって思ったのは、それに相当すると給食費も、差あんのかなと。
福田委員長	給食費というのは、一食単価に対してしか徴収してない。
平吹委員	一食あたりは、いろいろなのが入っているわけでしょう。まず、米なり、野菜とそんなもんも入っているだろうし、調味料もみんな入っているだろうしね。そうした場合に、センター方式した時の原価というか、自校方式した場合の原価って出てくるんだかなと思うんだけど、それを比較は無理

	かな。
福田委員長	そこまでやると……はい。千葉委員。
千葉委員	今の話までやるとね、興味はあるけども、コストだから。でも、コストを、今、議論してんだからね。無償化にするにはどうしたらいいのかということに特化してたら拡散…
平吹委員	いや、だからそうすれば、例えば、そうした場合に、その無償化した場合に、当然、町の負担も大きくなるわけだから。
千葉委員	現状、全部、現状を公定でなんぼかかるかと、まず、計算しないとね。現状公定で。
平吹委員	差し当たり、無償化っていった時の町の負担というのはあるわけだね。
山岸副委員長	だって、それも計算というか、出さないとないよね。数字的には出てくると。もちろん、ここに、出てからさ。これに生徒数掛けたら…。
柳田委員	単純計算で今やったら、9,000万くらい。一人あたり5万円いくらいではないですか。
福田委員長	ほかにありませんか。はい。大橋委員。
大橋委員	今、平吹委員みたいに、例えば、食材が地場産だったり、残食だったりってというのは、それはセンターだったり、自校方式だったり、当然出てくるんだよね。その中に一週間分出てくるはずですね。
福田委員長	ほかにありませんか。
大橋委員	俺、最初に言ったことは、ご内諾いただけるのでしょうか。
福田委員長	天引き。どこに、入るの。
柳田委員	無償化ごと無くなってしまふ。無償化なくなったときにする。天引きだったり、減免だったり。
大橋委員	そんなことないんだって。
柳田委員	具体的なものでそれも全て。
福田委員長	給食費ここかな。
柳田委員	いや、だとしたら、もう一つ大橋委員の言った就学援助…
大橋委員	就学援助だな。就学援助の制度的なもの。
福田委員長	あと、付け足すもはありますか。
藤田委員	委員長、食材のですね。搬入ルート、地場産品のところなんですけど、これは、自校式であれ、センター方式であれ、搬入ルートは同じかな。
福田委員長	違います。自校方式については、食材は搬入ルートが学校によって違うので。センターは、今のところ。聞いてみますって言うことなんです。15日に、学校給食審議会というのがあるみたいで、その場所に、27年度の給食費をどうするのか、それから、食材についてのどうするのかっていう話し合いが話し合われるそうです。15日に。それ以降の方がわかるでしょうということで、5月にも予定しているから、その時に、お伺いしますって話しました。はい。千葉委員



千葉委員	<p>ここの中で、意識の中だと思うんですけどね。われわれは、教育と福祉と両方抱えていますので、この政策は、実際に福祉政策ってなるのか、教育政策の中で、ものが展開していくのかっていう具体的な問題なのではないかなって私は思っている。福祉政策だとすれば生活支援。形としては、同じだけどね。</p> <p>それから、教育政策の中で考えるのであれば、教育の格差なんだよ。不公平感。今、失われているってよく言われていますよね。その辺を、やはり、意識してどちらの政策、どちらの、われわれは福祉政策として考えるのかって政策、考えるかということも意識の中には持っていた方がいいじゃないかなって思います。</p>
福田委員長	それは、公教育の立場なので、福祉ではない。それも合わせて学校教育法、それから、いただいた公教育の無償化への再構築っていう部分で、一緒に学んで確認したいと思います。
千葉委員	ということは、生活支援ではないんだよってことですよね。
福田委員長	そうですね。
福田委員長	ほかにありませんか。プラスすべき部分。これより、2時半まで休憩します。もう一回ながめてね。それで、ご意見いただいて、まとめていきたいと思いますので。
	<p>休憩 14:17</p> <p>再開 14:27</p>
福田委員長	再開をいたします。議長の参加。まず、学校給食審議会。通常、給食費を決めるために、2月に行われてるんだそうです。今回は、4月15日というのは、栄養士会なんですって。条例の関係もあるので、6月に予定をしており、傍聴できますという事なんです。その中で、公会計のこと、それから、主に条例の関係でということなので、傍聴はできます。
山岸副委員長	6月というのは、まだ日にち決まっていないの。
福田委員長	まだ、決まってません。給食費そのものについては、終わります、終わってますということですね。
山岸副委員長	給食費の問題は
福田委員長	2月に。
山岸副委員長	もう、終わってるの
福田委員長	決まっているの。
山岸副委員長	決まったんでしょ。
福田委員長	決まったので、27年度は。示したような中身なんですけども、改めて、皆さんから足した方がいい、要らないというのあれば出していただきたいなと思います。はい。大橋委員
大橋委員	この中に、大きいテーマの中に、どうしても無償化があるんだけど、減免措置についても研究するところっていうのは、やはり、できるんです

	<p>か。結構、多くの市や町で、さっきも言いましたけども、第3子については、2分の1の免除。それから、第4子については全額免除っていう、ちょっと、はっきりしません。仙台市も、そうだと思いますけども、そういったような形でその言ってみれば、全額無償化と同様に、若い世代の呼び込みもやっていくところもあるよう感じますけども。そのテーマの中でその部分もやっていかなければならないと思うのですが。</p>
福田委員長	<p>私達が、取り組もうとしているのは、負担軽減っていう部分でのことなので、例えば、近隣市町村の、取り組み状況がこういうふうになっているという状況も一緒に学びながら、そこは最終的に美里町では、こういうふうにしたらいんじゃないかという提案をしていきたいと思っております。</p> <p>はい、柳田委員。</p>
柳田委員	<p>今の話ですけども、減免処置について検討するに必要なんですけども、現在の状況で、例えばなんごう幼稚園と、こごた幼稚園では、給食を行っている、行なっていない違いがありますよね。給食をしている、していないとかですね。</p>
福田委員長	<p>幼稚園そのものね。</p>
柳田委員	<p>ええ。そうすると、減免だったり、無償化というのが差別化になって... その部分も、今、行ったようにできるようにできるのかと言えば、検討しないとまずいかなと思いますね。</p>
福田委員長	<p>それも合わせて、最終的な部分で、どうするかっていう部分でね。審議していきたいと思っております。ほかにありませんか。研究調査する中身が多岐にわたって、12月の提案でいいのかなって、提言でいいのかなって、ちょっと、不安あるんですけども。かなりのスピードでね、先進地視察しても、5月議会に承認もらうために5月中旬には、もう決めなくてない。ありますから、かなりのスピードで行なわなければならないと考えております。研究調査の内容については、これでよろしいですか。</p>
	<p>はい。(複数のはいの返答あり。)</p>
福田委員長	<p>では、これで進めていきたいと思っております。具体的な協議に入るんですけども、この中で一緒に組み合わせて、教育委員会に、聞いていかなければいけない部分ってのがありますので。それについて、どの部分なのか、ちょっと確認したいんですけども。</p> <p>まず、給食費の無償化についてという事で、近隣市町の取り組み状況については、事務局で調べられるんですけど、教育委員会……。では、教育委員会に他の取り組み状況は、これは、教育委員会にお願いしたいと思います。</p> <p>それから、給食費の無償化についての学習については、皆さん、大橋委員からいただいた公教育の無償化への再構築というものを基本にして学習していきたいと思っております。</p> <p>それから、この給食費についてですけども未納状況、それから給食費を</p>

	<p>皆さんにね、表はいただいて、皆さんにお渡ししてますけども、教育委員会に聞かないと分からない。聞きたいこともあると思いますので。</p> <p>それから、子ども手当からの天引きについては、子ども家庭課なんですね。全額無償化した場合には、町の負担は、これくらいになるのかっていう部分については、計算すれば出てくるんですけども。これはいいかな。未納状況、給食費あわせて、赤丸は教育委員会ですね。</p> <p>それから、学校給食法については、皆さんに資料渡してますので、皆さんで学習していきたいと思います。講師は、必要でしょうか。一番基本なんですけど。</p>
千葉委員	専門ならさ。だからね、辞書で調べれば語彙みたいにわかるもんじゃないからね。
大橋委員	これだって、教育委員会でしょう。
福田委員長	教育委員長さんあたり知っているかな。それから、食材の搬入ルート。それから、地場産品、残食。これは、子ども家庭課。まず、初めに、どれからいくんですか。これはね、5月にしなくてはならないのね。5月に決めなければならぬ。場所も決めなくてない。はい。山岸委員。
山岸副委員長	現場の、現役のお母さん、お父さん達の声聴く必要はないですかね。給食費についてどのように思っているのか。例えば、アンケートとるとか。われわれは、もう、ほとんど子育て終わっている連中だから。
	その中で現場では、実際に給食費払ったり、給食を食べている子ども達の親の意見というのは、現場で感じている生の声だと思うんです。
藤田委員	絶対、無料化にしてという...
山岸副委員長	設問の仕方なんだけども。まず、一番現場の人達の、給食費について受け止めているのかな。そこで、負担に感じているものなのか、もう少し、念には念をして...。どうしても私達は、必ず法律だとか教育法だとか、そういう部分、そっちのほうを知る必要があるから。
平吹委員	そういうの、教育委員会ですってないか。学校の教育委員会で聞いてみたらいい。そういう調査結果あんの、給食について。生徒の、あるのではないかな。
柳田委員	今までで、とったことあるのがあれば、どんなものでもいいから参考になりますからね。
福田委員長	これについては聞きたいものも、きちっと気になりますね。ちょっと、大変だと思うんですけど。
柳田委員	ただ、過去にとったデータがあるのであれば、どんな内容のことでもいいから提供してもらったほうが。
福田委員長	まず、給食費の無償化についての学習と、ここ一緒にできないかな。
千葉委員	読むのは当然だけども。われわれは。
福田委員長	ここ先にする。
千葉委員	最初にしないとさ。

福田委員長	では、学校給食法を一番にするか。
千葉委員	その方が、すぐにやった方がいいんでないかと私は。
山岸副委員長	次は、給食の未納状況だね。給食費について調べないと。それ、大前提でしょ。
福田委員長	なぜ、無償化なのかっていう部分で。
山岸副委員長	そのための中身の勉強するんでしょう。
柳田委員	それは、学校給食法から出てくることでないの。
福田委員長	最初、これ合わせて聴く。
大橋委員	無償化の問題というのは、福田さん、得意な部分で、義務教育だから当然、給食費も無償であるべきだっていう論理も当然あるわけだよね。そういう法的な部分ですね。学校給食法と直接関係あるかどうか別にしてね。
福田委員長	一緒に。聴く分についてはね。次に、あの教育委員会から聴くやつでいいですか？
	(「はい」の声あり)
福田委員長	では、最初に基本的な部分を講師の先生に。教育委員会、お金のかからない講師の方をお願いして聴いていきたいと。次に、先進地どこにするかですね。その後に、教育委員会から詳しく聴いてみる。 それから、子ども手当からの天引きと学校給食審議会を傍聴するということがいいかな。それから、保護者等の意見を聴くってということについての話し合い。最後にまとめていうふうにこの順序にして、したいと思いますので。この順序でよろしいですか
	(「はい」の声あり)
福田委員長	はい。この順序でしていきたいと思いますが、あと、先進地視察ですけれども…。
千葉委員	もし、先進地だったら、最終的にね、今、ねらいは無償化。無償によるかどうかわからんけど、無償化を目指すということを目的にしているのだから、そういう実態を見に行きたいんでしょう。
	(順番の検討中)
福田委員長	では、5月はお話を聴くのと、それから、先進地視察を決めたいと思います。それから、教育委員会については、審議会と合わせて1日になると思いますのでね。 そうすると、場所は教育委員会みたいになると思いますので、南郷庁舎の方に行った方がいろいろ資料あっていいのかなって思うのね。子ども家庭課と保護者の意見を聴いて話を分かった時点で、どういうふうにしたらいいのかっていうことで。最後にまとめをしていくっていう、この方法、方向でよろしいですか。 じゃ、確認をさせていただきました。では、5月の日程。皆さんにお渡ししております資料、しっかりと目を通して臨んで下さいね。はい。大橋

	委員。
大橋委員	これの中に、その実際の無償化で出てくる町が、前にもいただいたんですけども、載っているんですけども。これも、皆さんに調べていただくのもよろしいかと...山梨までは、無理なのか。早川町ってところはね。修学旅行から、教材費から全部無償化にしている。
福田委員長	ただ、旅費が...。旅費の問題。私としては、早川町に行きたいと思っている。ただ、旅費が...
山岸副委員長	調べてみないとわからないからさ。
福田委員長	ううん、調べたの。
千葉委員	ここで考えたって出ないんだ。
福田委員長	一回ね、事務局に出してもらった...だから、安いルートで。例えば、高速バス使った方が安いと思うのね。移動する時に、新幹線使ってその後に移動する時に、高速バス使った方が安いルートを使えるのであれば、旅費はクリアできるかなと思います。
山岸副委員長	いいんじゃない、それは。旅行社に、それを組んでもらえば。
福田委員長	向こう降りてからか、遠いの。旅行社でなくて、事務局でなければならぬの、それは。
山岸副委員長	事務局は頼むんでしょ。事務局、全部整理するわけじゃないのね。
福田委員長	旅費計算。
山岸副委員長	この予算内に旅行社が、そういうふうにお願ひすれば、バス、新幹線も、上手く、こう...
福田委員長	違う、違う。出来ないんです。勿論、出来ないの。
山岸副委員長	なぜ、出来ないの。
相澤主幹兼係長	そこまでは、今まではしたことがないです。ある程度案を決めて、これで新幹線、何時のチケット取って下さいとか、いつの宿取って下さいっていうところまでしかお願ひはしてないです。今までは。
福田委員長	旅費計算なのか、町の規定に見合った旅費計算なので。その辺、山梨まで可能かどうか調べていただいて...していきたいと思います。では、5月、いつしますか
	(日程調整中)
吉田議長	あの委員長、余計なことと言って悪いけども。今、何件かの何町か出ているわけでしょう。実際、やっているところも。だから、そこもネットで出せばいろんな状況が出て...わかる範疇だけれども。集めて、先にそれを、例えばだけど、4月中に...やれるのであればだよ。一回目を4月中にして。そしてそういう事前の資料で、そして主だった行先をピックアップしながらというやり方の方がいいんじゃないのかと思うんだけど。名前が何町か挙がっているわけだからさ。この中でね。ただ、完全にさ、沖縄だの山口だの北海道とかは、まず予算からして無理だろうから、行けると思われる範疇やつを調べてということで4月中にやっておいた方が一番手取り

	ばやいのでないかな。
福田委員長	<p>1カ月で1回のペースでしようっていう頭しかなかったの。それでは、4月に、もう一回して。そこで確定すれば、5月スムーズに行くかなって。</p> <p>では、4月、場所ですね。場所については、これに載っていたのとそれから、皆さんに渡した表と合わせながら、第1番目、早川町でいいですか。山梨県早川町。それから、一番のそういったものが進んでんのは長野県なんですよ。南牧村、これ長野県でない。群馬県、群馬県か。皆さんに、お渡ししたのは高崎市の地場産品。</p>
柳田委員	<p>何泊の予定ですか</p> <p>(「1泊」の声あり)</p>
福田委員長	<p>1泊、4万くらいしかお金出ないので、1泊しかできません。力入れているのが、群馬県なんですけども、群馬県でも村だと、かなり奥まで入って行かないとないの。2カ所というのは、ちょっと、大変かなって思うんです。</p> <p>では、早川町。それから、大田原市、栃木県。近いからね。それから、群馬県、群馬県の南牧村。</p>
大橋委員	長野王滝町。
山岸副委員長	長野は、交通便、悪くって。なるべく...
福田委員長	バスで行くようにして。じゃ、ピックアップして探しておきますからね。皆さんも。
山岸副委員長	埼玉県滑川町。
福田委員長	滑川...
吉田議長	埼玉は完全行けるから。
福田委員長	じゃ、資料取り寄せておきたいと思います。ということで、次回は、資料を取り寄せて、場所を決定するために4月に集まりたいと思います。いつ、いいでしょうか？
	(日程調整中)
福田委員長	休憩します。
	<p>休憩 15:03</p> <p>再開 15:07</p>
福田委員長	再開します。次回は4月16日、9時30分から。先進地視察についてを議題といたします。資料については、用意しておきますので、4月決めたいと思います。ほかに皆さんありませんか。何か。ないようなので、副委員長お願いいたします。
山岸副委員長	中身の濃い話と薄い話と。いろいろと検討させていただきまして、先進地視察の話ですけど、これまでに 委員長と相澤さんと資料をまとめていただきたいと思います。テーマが、すっかり決まりましたので、それに向けて、皆さん、家に帰りましたら、それぞれ、資料をよく読んでいただい

	て、共通認識をしていただいて、しっかりとテーマに沿って進んでいきたいと思しますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。大変ご苦勞さまでした。
	閉会 15 : 08

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成27年4月9日

教育、民生常任委員会

委員長 \_\_\_\_\_ (印)